

しらおか男女共生広報紙

ハーブテイ

2001. 11
第 7 号

国籍を越えて男女共生を考える

「国際化」、「国際社会」という言葉が、今ではすっかり日常的に使われるようになりましたが、言葉だけが先行していることも、多々あります。今回は、「男女共同参画」の視点から、女性、男性の枠だけでなく、国籍を越えて、お互いを理解する「国際理解」について、3人の外国のかたがたを交え、座談会で考えてみました。

司会 本日はお集まりいただき、ありがとうございます。さっそくですが、まず皆さんの自己紹介からお願いします。

姜 はじめまして。韓国からきた姜と申します。日本人と結婚して、3人の子どもがいます。日本に来て8年ですが、白岡以外に住んだことがありません。



姜 明男さん

板谷 板谷です。イラン人と結婚しましたが、イランは別姓が当たり前で、彼はモクタリ、私は旧姓をそのまま名乗っています。

モクタリ 日本に来て16年です。ジャーナリストです。白岡へは住宅情報誌を見て、都会と田舎の間で住みやすそうだと思って、引っ越してきました。

カンタ バングラデシュから来ましたカンタです。11年前、留学生として一度日本にきましたが、4年前、今度は仕事のために日本に来ました。

〈家庭内での男女の役割〉

司会 日本では、ちょっと前までは「男子厨房に入らず」なんて言葉がありました。皆さんのお国では、家庭内での男女の役割はどうですか。

姜 韓国では、昔から父親は家庭の中心で、母親が子どもを育てるという役割でした。でも、今は韓国も少し変わりました。

司会 姜さんご自身の家庭では、今どうですか。

姜 私の家庭も父親、母親としての役割はありますが、どっちがえらいとかじゃないですね。

司会 モクタリさんのお国での男女の役割は…。

モクタリ イランも経済の発展で、女性の社会進出が盛んです。大学生は女性のほうが多いし、国会議員も日本の割合より多いと思います。家庭内を見ると、男性でも子どもとの時間を大事にしてよく遊ぶし、男性が台所に立つのも珍しくないですね。



カンタ・エムテ・ショーヘダルさん

カンタ バングラデシュでは男性は外で仕事をし、女性は家庭を守っています。



9月9日(日) 中央公民館にて

司会 女性は結婚したら、家庭に入るのが普通ですか。

カンタ はい。女性は結婚したら、家庭で子どもや老父母の世話をするのが普通です。男性は一日の仕事を終え、家に帰ったとき、家族がいるとほっとして幸せを感じます。

〈子育て・国際結婚〉

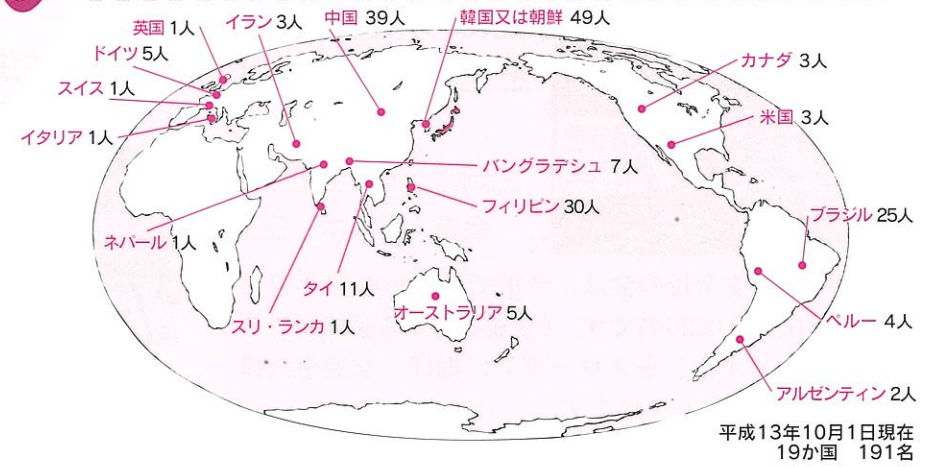
司会 姜さんは子育てで何か気をつけていることがありますか。

姜 まず、夫婦が仲良くしないとだめですね。親のけんかばかり見ていた子は、そのときの心の不安が将来にも影響しますよ。

板谷 国際結婚で生まれた子どもは二つの国の文化を持っているので、それをよりよく生かして、視野を広げてほしいと思います。

カンタ 私たちは国際結婚ではありませんが、日本に住んでいるので、子どもたちにはベンガル語、英語、そして日本語を話せるようになってもらいたいですね。

町内在住の外国人の国籍



〈白岡町へひとこと〉

司会 最後に白岡町へひとことお願いします。

カンタ 妻が二人目の出産をしたとき、上の子を保育所に預けたかったんですが、人数に空きがなく、待つように言われました。妻の手術の診断書も出すように言われましたが、これも外国人の私には難しかったです。

モクタリ それと、公民館の利用料が高いですね。

姜 図書館をもっと利用しやすくして、身近に文化が感じられる町にしてほしいです。

板谷 町民自体の集まりの場が少ないように思うんですが…。



モクタリ・ダヴィッド板谷由紀子夫妻

モクタリ 今の社会を見れば、どの町でも外国人が住んでいるのは当たり前のこと。その町が外国人にとって「住みやすい」と言えるのは、だれにでも同じ可能性、同じチャンスが与えられ、みんなと仲良くつきあえることだと思います。

司会 ありがとうございました。(敬称略)



白岡国際交流会

「地域に住む外国人の力になりたい！」—そんな気持ちで、今年2月ボランティアのスタッフ15名で活動が始まりました。日本と外国の人との交流の場として、「オープンサロン」を開催し、互いの文化を通して、楽しく交流を深めています。



***ボランティアスタッフ大募集!**

連絡先：重富恭子 ☎(93)6556
白岡町政策課(国際交流担当) ☎(92)1111 内線 371

国際交流に
関心のあるかた、
待ってま〜す!

国際交流セミナーのおしらせ

日時：11月17日(土) 9:55~11:45

場所：白岡高校(視聴覚室等)

外国人のかたがたのスピーチと
生徒の発表、歓談など。

問合せ先：白岡高校

☎(92)1505



今回、座談会で語り合うことで多くのことに出会いました。特に印象深かった発言に「地域に住む外国人が今回のように皆と話し合う場がない」というのがありました。

町内でも地域社会や教育の現場で、国際理解の取り組みが行われています。今後お互いを理解し、国籍や性別にとらわれず共に自由に発言、参画できる社会を私たちは創り上げていきたいものです。それが、すなわち男女共同参画社会につながっていくのではないのでしょうか。



きらっと輝いて!

「交通安全は家庭から」をモットーに!



白岡町交通安全母の会
会長 宇津木 征子

白岡町交通安全母の会は、今年で発足から13年目に入り、現在会員は26名です。「交通災害から家族を守ることを目的とする」をスローガンに掲げ、交通事故撲滅を目指して活動しています。

活動内容は交通安全週間中に街頭指導を行い、春のジープング車両パレード、町内の小学校の鼓笛隊パレード、白岡まつりにおいて交通安全の必要性をアピールしています。また、毎年実施している高齢者への戸別訪問では11月下旬に会員手作りのマスコットと小学生によるメッセージカードを持参し、事故防止を呼びかけています。

☺ 白岡町のお母さん、私たちといっしょに楽しく活動しませんか。

連絡先：白岡町生活環境課 ☎(92) 1111

ハーブ化粧水はいかが？

※ 冷たい風で肌荒れのときには、カモミールやポット・マリーゴールドなどで肌にやさしい化粧水を作ってみては… ※別名：キンセンカ

作り方



注) 肌に合わないときは使用を中止しましょう。



表紙のハーブ

ナスタチウム：ピリッとした辛味があり、花も葉も生で食べられます。サラダにどうぞ!



紹介しま〜す!

男女共生セミナー実行委員の皆さん



(左から)
石井 久美子さん
のぐち 茂子さん
安治 美恵子さん
町田 友子さん

セミナーの企画から運営までを行います。
開催は来年2月ごろを予定しています。乞うご期待を!

参画ステップアップ講座で ホップ、ステップ、ジャンプ!

この講座は、9月25日から10月25日まで5回にわたって行われました。男女共同参画社会に向け、女性自身のステップアップが目的です。

話し方や会議の進め方など、参加型の講義を通して活発にコミュニケーションが行われ、充実した5日間でした。



9月25日(火)受講風景から

編集後記

ハーブティ、第7号をお届けします。今回のメインは、白岡に在住の外国人とご家族のかたを交えての座談会です。9月のある雨の日曜日、公民館の一室で4つの国の人がそれぞれの国の男女共生を日本語で語るというひとときを持つことができました。その内容と雰囲気様が皆様に伝わればいいなあと思います。

編集委員

浅野 悦子 井上 初栄
井上 由香 金子 美津江
中根 正義 東 めぐみ

表紙の絵

天沼 里美さん (町内在住)



白岡町政策課 TEL 0480(92)1111 内線 371
FAX 0480(92)9096
しらおか男女共生広報紙編集委員会

ご意見、ご感想をお待ちしています。